

新年度になり、新しい環境での生活が始まった学生や社会人の方も多い

女性管理職が語る

自分の軸と仕事上の役割

と思います。私の中学生の娘もクラス替え後の期待と不安が入り交じった落ち着かない様子で、それを私が見ても学生の頃は友達関係に悩んだことを思い出しました。

「人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

「誰しも間違えてしまうことってあるよね」「いろいろな意見がある」と考えようがないよね」と考えている。多少判断がずれる方ですが、仕事ではきちりと線引きを示し、プライベートでは示さないような厳しい態度や判断を示すこともあります。

全員に支持されなくてもいいし、多少判断がずれていても判断の理由を誠意をもって説明することでなんとかやっていくしかないと思えるようになっていくように思います。

「また、私の育った時代は、現在のような自分らしさや多様性というより、人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

「また、私の育った時代は、現在のような自分らしさや多様性というより、人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

「また、私の育った時代は、現在のような自分らしさや多様性というより、人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

「また、私の育った時代は、現在のような自分らしさや多様性というより、人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

「また、私の育った時代は、現在のような自分らしさや多様性というより、人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

「また、私の育った時代は、現在のような自分らしさや多様性というより、人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

「また、私の育った時代は、現在のような自分らしさや多様性というより、人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

「また、私の育った時代は、現在のような自分らしさや多様性というより、人に迷惑をかけてはいけません」「周りに配慮するべきだ」といった、他人からどう思われるかという価値観が重要視されています。

日本HP コンシューマー事業本部 部長

沼田 綾子氏



ぬまた・あやこ 2001年、コンパックコンピュータ（現日本HP）入社。Eコマースやマーケティングの部署を経て16年にコンシューマーPC製品部へ異動。17年5月から現職。

「誰しも間違えてしまうことってあるよね」「いろいろな意見がある」と考えようがないよね」と考えている。多少判断がずれる方ですが、仕事ではきちりと線引きを示し、プライベートでは示さないような厳しい態度や判断を示すこともあります。また、仕事での自分の軸とプライベートでの軸は全ての面で一致していません。管理職をしていては、自分と、プライベートでの自分が大きくかけ離れたことはありません。時にはプライベートな自分とは違う軸で行動や判断をしなくてはならないときもあります。たとえば、私はプライベートでは割にこだわりがない楽観的な人間で、ずうずうしさというか、

「誰しも間違えてしまうことってあるよね」「いろいろな意見がある」と考えようがないよね」と考えている。多少判断がずれる方ですが、仕事ではきちりと線引きを示し、プライベートでは示さないような厳しい態度や判断を示すこともあります。また、仕事での自分の軸とプライベートでの軸は全ての面で一致していません。管理職をしていては、自分と、プライベートでの自分が大きくかけ離れたことはありません。時にはプライベートな自分とは違う軸で行動や判断をしなくてはならないときもあります。たとえば、私はプライベートでは割にこだわりがない楽観的な人間で、ずうずうしさというか、